



# 学校だより 第8号

糸満市立三和中学校

校長 仲程 俊浩

令和6年11月5日発行

糸満市字真壁519番地

098-997-2104

## 《教育目標》

ふるさと三和を愛し 主体的に学び続け お互いを尊重し合う 心身ともに健やかな生徒

### 進路指導を考える

先日、以前勤務していた中学校の卒業生から「先生、お久しぶりです。この春、大学生になりました」との連絡がありました。（うれしいことに、このようなお電話（たまに来校）はこれまでも度々頂いております）。

その時、私は「どこの大学ですか？」とは聞きません。決まって「専攻は何ですか？」と返します。それに対し、卒業生たちは「〇〇学部で〇〇コースを専攻しています」「〇〇学科を選択しました。卒業後は〇〇の仕事に就きたいです」と生き生きと希望に満ち溢れた口調、表情で答えてくれます。

「どこの大学ですか？」と尋ねると、「受験偏差値の比較、の範囲で答える卒業生が少なからずいます。ちょっと小さな声で「〇〇大学しか入れませんでした」「いや～、たいした大学ではないですよ」などと……。しかし、「何を学びたいのか？」「大学での目標は？」「何を学ぶために？」を尋ねると、卒業生たちは自分自身を実に生き生きと、そして自信を持って語ってくれます。

季節は11月。楽しかった修学旅行も終わり、3年生の皆さんはいよいよ本格的な受験シーズンに突入します。皆さんもご存じのように受験では5教科以外に今年度から導入される特色選抜も含め、全ての受験生に面接試験が課されます。

受験生の皆さんにとって、面接試験はきっと人生初のことと思います（保護者の皆様もきっと不安が多いかと存じます）。これまで私自身も多くの生徒に模擬面接を行ってきました。その中で私が必ず質問しているのは、「なぜ〇〇高校に進学したいのか」「〇〇高校で何を頑張りたいのか」と聞いています。

その中で生徒の皆さんは「将来、〇〇大学に進み、農業に関する仕事がしたいです。そのために・・・」「語学教育に力を入れている貴校で英語のスキルを磨き、〇〇の仕事に就いて社会に貢献できる人に・・・」「将来は看護師を志望しています。そのために夢の実現に向け〇〇高校では・・・」と自分ほどのような生き方をしたいのかをじっくりと熱く話してくれます。

つまり「受験」とは、自分はこれから先、どのような生き方をしたいのか、そのためにどう（何を）しなければいけないのかを自分自身に問い続けていく、その第一歩なのだと思います。では、どんな生き方をしていくべきだろうか。私は、あなたが幸せになる生き方、そして人を幸せにする生き方をしてほしいと思っています。だから受験は自分のためであり、そして人のためでもあるのです。

この三和中学校で一緒に過ごしてきた仲間たちと励まし合い、時には教え合い・支え合うことが、自分の生き方としてできる立派な中学生に成長することを切に願っています。